

弁当について

- ①弁当を持ってくる目的
- ②持ち物について
- ③水筒について
- ④中身について
- ⑤箸に慣れない子について



弁当について

※令和8年度より希望制で弁当給食が始まります。
(詳細が決まりましたらお知らせします)

弁当を持ってくる目的

- ①自立の気持ちを育てる。
- ②偏食をなおす機会になる。
- ③食生活のよい習慣をつける。
- ④友達と親しみを増す。

持ち物について

弁当袋の中

- ①弁当箱 ②おしぼり(ケースに入れたもの) ③はし箱

- ①弁当袋(①②③)をランドセルの中に入れて持たせてください。
- ②**持ち物全て**お子さんが**出し入れ出来る物**にしてください。
- ③弁当箱は年間を通して保温庫(80度)で温めるため、**アルミ製、ステンレス製**の物をご用意ください。
- ④弁当箱に**平ゴム**を付けてください。
- ⑤保温庫に入れないもの(果物・生野菜)は**別容器**に入れてください。
- ⑥床に落ちた物は弁当箱に入れて持ち帰ります。
- ⑦帰宅後、ランドセルを所定の場所に置く、空弁当箱を出す、
食事中こぼしたら自分で拾うなど、ご家庭でも習慣づけてください。

水筒について

- ①水筒の中身は**水かお茶**にしてください。
- ②水筒の中身が無くなった場合は、幼稚園の水道水を補充します。
- ③スポーツ飲料水は入れないでください。
運動会練習の時期のみ可とします。時期は連絡アプリでお知らせします。

中身について

- ①最初は、家で食べ慣れた好きな物を入れ、量を少なめにし、慣れてきたら増やしていくようにしてください。
弁当を残すことが続く場合は、量を加減してください。
- ②弁当に慣れるまでは、おにぎりやのり巻きにして、食べやすいものにしましょう。
- ③おにぎりをアルミホイルで包む場合、アルミホイルに名前を記入してください。
- ④ふりかけを持ってくる場合は、名前を記入してください。
- ⑤栄養を考えて、おいしく食べられるものにしましょう。
お菓子に値するようものは避けてください。
- ⑥パン食のときでも、栄養の偏りのないようにしましょう。
- ⑦果物は適量であれば、持ってきて良いことになっています。
ゼリー等は持ってこないようにしてください。
- ⑧皮付きの果物(ミカン、バナナ等)を持ってくる場合は皮に名前を記入するかケースに入れてください。

箸に慣れない子について

- ①満3歳、年少、年中組の段階としては、楽しく喜んで弁当を食べられることが第一です。まだ箸を上手に出来ない場合は、いつも使い慣れているスプーン、フォーク等を箸と一緒に持たせるようにしてください。
- ②年長組になったら、箸だけでも食べられることを目標に、家庭でもなるべく箸を使用しましょう。
- ③親の箸使いを子供はよく見ているものです。
正しい箸使いの見本を見せ、食事の指導をしてください。